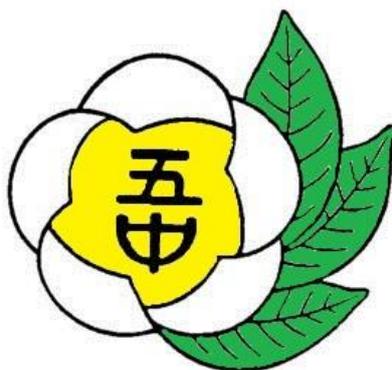




授業改善推進プラン

- 1 学力向上を図るための全体計画
全校共通で取り組む事項
- 2 教科等別の授業改善推進プラン



令和2年9月

武蔵村山市立第五中学校



令和2年度 学力向上を図るための全体計画

武蔵村山市立第五中学校

関係法規等	学校教育目標	期待される児童像
<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領 ○武蔵村山市教育委員会教育目標及び基本方針 ○武蔵村山市立学校の学力向上策 	<ul style="list-style-type: none"> ○正しく判断でき主体的に実行できる生徒 ○互いに助けあい思いやりのある生徒 ○身心をきたえ何事もやりとおす生徒 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本を定着させ、個性と能力を発揮できる生徒 ○思いやりのある心豊かな生徒 ○道徳心をもち、自他共に大切にする生徒 ○地域社会と交流のできる生徒

学校経営方針（学力向上にかかわる要点）
<ul style="list-style-type: none"> ○各教科で、「五中校区スタンダード」「学習の手引き」等を活用し、意見発表、討論などを通して、言語活動の充実を図り、主体的に学習する意欲と態度を育てる。 ○授業を通して人権尊重教育の充実を図るとともに、基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用を目指した年間指導計画、評価計画及び授業改善推進プランの充実に努める。

指導内容	中学校における「定着させたい学力」	重点
各教科	<ul style="list-style-type: none"> ・「確かな学力」としての知識・技能。 ・自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考える力。 ・主体的に判断・行動し、問題を解決する資質や能力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な内容の確実な定着 ・個に応じた指導の充実 ・家庭と連携した学習習慣の確立
特別の教科 道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳的価値を自覚し、人としてより良く生きる力。 ・相手の立場に立って物事を考え、思いやりのある行動をする力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自他共に大切にする心の育成を目指す。 ・道徳授業の指導方法を工夫・改善し、考え議論する道徳授業を行う。
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を解決する資質や能力。 ・創意工夫を生かした学習活動を展開する能力。 ・自分自身を知り、自己実現を図る態度や能力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年共通のテーマ「生きる」のもと、人権に配慮し、横断的・総合的な学習、生徒の興味・関心に基づく学習などを行う。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な事に挑戦する自主的、自立的な態度。 ・集団や社会の一員としてより良い生活や人間関係を築こうとする社会的な資質。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の一員として自覚と責任をもたせる。 ・自主的・自治的な活動の充実を図り、自尊感情や集団への帰属意識を高める。
キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって学び続けようとする意欲。 ・自分に適した進路選択をしていく力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な生き方を学び、自分に適した進路選択ができるような指導・援助を行う。
生活指導	<ul style="list-style-type: none"> ・規範意識をもち、授業規律を守れる態度。 ・人の話を真剣に聞き、改善していく力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルール違反ゼロを目指し全体へ呼びかけ、決まりを守る大切さを意識させる。

本校の授業改善に向けた視点				
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内研究や研修の工夫	評価の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な学力の定着を図るため、生徒の実態に応じた指導方法の研究を深め、授業改善に努める。 ・教科書に基づいて課す家庭学習も併用し、各学年の指導内容を履修できるよう工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科の授業や、定期考査前の質問教室の充実を図る。 ・横断的な学習に力を入れ、その派生効果が生まれる指導の充実を図る。 ・年間35時間以上の道徳の授業時間の確保を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業公開、意見交換、講師の招聘を含めた研修会を開く。 ・人権と特別支援教育に関する理解をより一層深めていく。 ・新学習指導要領の全面実施に向けて指導と評価の一体化についての研究を深めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の生徒の学習活動を明確な評価規準のもとに評価し、学習意欲の向上に結び付くように計画的かつ継続的に指導する。 ・生徒の実態に即し、よりの確実な道徳の評価を心がける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会、民生・児童委員や地域人材の活用を図る。 ・ツイッター等を活用し、日頃から積極的な情報提供に努め、保護者の理解を得るとともに、開かれた学校づくりを推進する。

授業改善推進のために全校共通で取り組む事項				
学習が遅れがちな生徒への支援	授業規律・学習ルールの確立	読書習慣の形成	学習意欲を高める方策と評価	家庭学習の習慣化
<ul style="list-style-type: none"> ・長期休業中に補習教室や定期考査前に質問教室を行う。また、個別の課題を与え基礎学力の定着を図る。 ・サポート教室や外部人材を活用し、課題の解決を支援する環境をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チャイム着席の徹底と授業の始めと終わりの挨拶をしっかりと行い、授業と休み時間のけじめを付ける。 ・「学習の手引き」を活用し、授業への取組及び家庭学習への取組方から指導していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書の時間に継続的に本を読ませることににより、読書の習慣を身に付けさせる。 ・推薦図書を紹介や、読み聞かせ活動を行い生徒に興味をもたせる。 ・密にならない工夫をしながら図書室を開放し、読書を行う環境を維持する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じた五中校区スタンダードを組み込んだ授業の実践をする。 ・生徒の実態に応じた指導、評価計画を作成し、生徒や保護者に分かりやすく説明する。 ・様々な学習形態を工夫して、主体的に学習する意欲を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の家庭学習の定着を図るために、考査前や長期休業中に学習計画表を書かせる。 ・家庭学習時間調査や、三者面談で「学習の手引き」を活用しながら、家庭学習の意義や、進路を見通した学習の大切さを伝え、学習習慣の確立を図る。

令和2年度 教科等別授業改善推進プラン

武蔵村山市立第五中学校 第1学年

教科等	(1)生徒の実態から 特に育成したい能力や態度	(2)指導形態、指導過程及び指導方法等の工夫 ※学力向上の具体的な手だてを示す
国語	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な「読み・書き」の能力 文章を読解し、内容の要旨を捉え、要約する能力 	<ul style="list-style-type: none"> 要点整理などによってジャンルごとの読み方や表現の仕方を理解させる。 プリント学習、発表や話し合い、音読など、多様な取組から関心・意欲・態度を高める。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 3年間を見通し、学びを継続できる学習への関心と意欲。 基礎的・基本的な知識や技能、自分の考えをまとめて表現する力、資料を読み取り、活用する能力（NIEとの連携）。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的・基本的な知識や技能を定着させるため、学び合い学習や小テスト・質問教室により反復学習を行う。 NIEとの連携や資料を活用し、地図やグラフの読み取る資料活用能力や、自分の考えをまとめて発表する表現力を育てる。
数学	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な四則計算、計算式の書き方から文字式の計算力、方程式を解く力 思考力を高める応用問題を解く力 	<ul style="list-style-type: none"> 毎時間、本時の目標を提示し、学習に取り組ませる。 基本問題には時間をかけて取り組ませ、文章題は内容の要点を提示し、自分で式が立てられるように補助を行う。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 理科に関する、基礎的・基本的な知識や技能。 理科の学習に高い興味・関心を持ち、意欲的に学習に取り組む態度。 	<ul style="list-style-type: none"> 実験や観察に関する基本的な技能や、補習教室なども含め、計算問題の練習に重点を置いた指導をする。 自作の教材や視聴覚教材など様々な教材を活用し、生徒の興味・関心を高めることにより、学習意欲を引き出す。
英語	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な単語や文を使った表現を積極的に使い、簡単なコミュニケーションをとれる。 外国の文化や習慣を学ぶことで外国への興味・関心を育成し、グローバル化する社会に積極的に参画することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習した単語や文に慣れ、実際に使うことができるようにするためにアクティビティなどを通して、繰り返し練習をする機会をつくる。生徒が積極的に話す機会を確保できる授業を構成する。 簡単な英語を使ってALTとの会話練習、スピーチを行う。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 音楽活動の楽しさを体験することで音楽への興味・関心を養い、楽しむ心情を育てる。 多様な音楽に触れ、幅広く鑑賞する能力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞する曲のレパートリーを増やし、関連して学べるように教材を工夫する。 楽曲に対する考えを自分の言葉で表現し発表し合い、互いに協力して表現の工夫を考え実践する力を育てる。
美術	<ul style="list-style-type: none"> 表現の楽しさ、表現を工夫する態度を育成し、表現方法を深く追求する心を育てる。 作品を鑑賞し、作者の意図を感じ取る能力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 美術が苦手な生徒でも制作できる環境をつくるため、分かりやすい説明、授業の振り返りをさせる。 生徒同士の意見交換や鑑賞会を行い、自分の考えを深めたり伝えたりすることで主体的な学びを促す。
保健 体育	<p>【体育分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な技能と知識を習得し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、意欲的に運動に親しむ資質・能力を育てる。 <p>【保健分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> 心身の機能と心の発達についての理解を深め、自らの健康を適切に管理改善する資質や能力を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 各競技の基本的技能を身に付けさせるために、学習カードや資料等を活用し、知識を定着させ、自他の課題を発見し解決するためのグループ活動の充実を図る。 自他の心身の発達や健康に関心を持ち、健康・安全の意義を理解し、日常生活における課題の解決に役立つ基礎的な知識を身に付けさせる。
技術 家庭	<p>【技術分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業当初に、話を聞く態度を整えさせ、授業内容を把握させ、共用の場で作業を行う際のマナーを身に付ける。 <p>【家庭分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活に必要な知識及び技術の習得を通して、生活と技術との関わりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全面を第一に考え、自分で課題を解決し、ものづくりの楽しさや奥深さを感じられるような授業形態の工夫に努める。 各班に係で分担を定め、次の人が気持ちよく使用できるよう、片付け、清掃を行う。 授業の内容をあらかじめ、板書を行い、概要を把握させる。また、板書、教科書、口頭で説明が困難なものは、事前に作業工程の動画を作成し、理解を深めさせる。
特別の 教道徳	<ul style="list-style-type: none"> 道徳的な考え方や行動ができる力を育成する。 「思いやり」の心の醸成を重視する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を中心に、心に響く身近な資料を用いて、道徳的な実践力、心情、判断力を高められるようにする。 担任による道徳授業と並行し、ローテーション授業を行うことで、全クラスで指導する形態を取り入れる。
総合的な 学習の 時間	<ul style="list-style-type: none"> 「発見」をテーマとして、自己を見つめ、自己の生き方について考え、卒業後の進路について見通しをもった取組を目指し、主体性を身に付けさせる。 「移動教室」の事前・事後学習を通し、課題設定能力、情報活用能力、コミュニケーション能力を高めさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育の視点に立ち、職業調べを通して、働くことの意義や自己の将来について考えさせる。 「移動教室」の活動を通して「集団生活のマナーやルール」を学ばせるとともに「コミュニケーション能力」を高めさせる。
学級 活動	<ul style="list-style-type: none"> 思いやりや優しさをもった生徒を育てる。 自ら考え、自ら行動できる自立、自律した生徒を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学級活動を通して集団生活に必要な力を身に付けさせる。 授業を大切にしている態度を育て、粘り強く取り組み、学び合いながら学習に取り組む態度を養う。

令和2年度 教科等別授業改善推進プラン

武蔵村山市立第五中学校 第2学年

教科等	(1)生徒の実態から特に育成したい能力や態度	(2)指導形態、指導過程及び指導方法等の工夫 ※学力向上の具体的な手だてを示す
国語	<ul style="list-style-type: none"> 「読む」「書く」「話す・聞く」の中で「書く」力を特に育成する。 「話す・聞く」について、自分の考えや意見をまとめたり、分かりやすく伝えたりする力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の文章を丁寧に、声に出して読む。基本的な文章の読み取り方を指導する。 語彙を増やすために、読書活動の充実を図る。また授業中には、新出漢字の練習を毎単元ごとに実施するとともに小学校内容の漢字との定着のため週一度の漢字テストを実施する。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 意欲・興味・関心をもちやすい課題を設定し自ら取り組む態度を育成する。 基礎的基本的な知識を精選し、確実に身に付けさせ、地図やグラフなどの資料を読み取る力の基本を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 導入の段階で、本時の目標を提示し、学習に取り組ませるとともに、ICT 機器などを用い、生徒の興味・関心を引き出す授業を行う。 小テストや定期考査の振り返りを通して、基礎的・基本的な知識や技能を身に付けさせる。
数学	<ul style="list-style-type: none"> 数学に関わる用語の意味を理解し、基礎的な計算力を身に付けさせる。 多様な解法を取り入れ、それらを比較し、その良さや違いを説明できる力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートに、本時の目標、教科書やワークの該当ページなどを明記し、復習しやすいように配慮する。 得意な生徒を飽きさせないように、ワークシートに適宜発展問題を取り入れる工夫をする。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的・基本的な知識の定着。 実験、観察の結果を正しく処理し、考察を深め、レポートにまとめ、思考力や表現力を養いながら、言語活動を充実させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> グラフの作成方法を細かく指導し、読み取る練習を繰り返し行う。 個人の考えを書かせた上で話し合い活動等のグループ学習を行い、理解の深化を図る。
英語	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な文や単語を身に付けさせ、コミュニケーションをとろうとする態度につなげていく。 英語の基本的な文の書き取りを反復させ、構造理解を徹底させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ライティング活動・スピーチ活動で、自分の考えを基本的な文や単語を使って表現する機会を多くもたせる。 既習語や文法を繰り返し練習し身に付けるため、副教材、自作ワークシートプリントを活用して取り組ませる。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 音楽活動の体験を通して音楽への興味・関心を高め、音楽を楽しむ心情を育てる。 音楽の要素や構造を理解し幅広く鑑賞する能力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の興味・関心を高め、鑑賞する曲のレパートリーを増やし、関連して学べるように教材を工夫する。 様々な楽曲に対する考えを、表現し発表し合うことで、互いに協力して表現の工夫を考え実践する力を育てる。
美術	<ul style="list-style-type: none"> 表現を創意工夫し、素材や用具を生かせる技能と表現方法を追求する心を育てる。 作品を鑑賞し、歴史的な背景などから、作者の意図を深く感じ取る能力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 創作の楽しさを味わい、深く追求する心を育てるため、分かりやすい説明で作り方のポイントを明確にする。 毎時間、今後の見通しをもって制作を行わせ、評価方法を明確にする。
保健体育	<p>【体育分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自他の課題を発見し、運動の合理的な実践を通して、運動に親しむ資質や能力を育て、健康の保持増進と技能・体力の向上を図る。 <p>【保健分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康の維持・増進において、自分自身とその環境との関わりについて、考え実践できる資質や能力の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動の合理的な実践を行うための基本的な技能を身に付ける。 自他の課題を発見し、課題解決に向けた改善・工夫を仲間と共有し、主体的に行うことができるようにする。 健康と環境の関係や、障害の防止について正しい知識を身に付け、実生活に活かすことができるような態度を育成する。
技術家庭	<p>【技術分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業最初の内容の話聞く態度を育てる。 <p>【家庭分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実践的・体験的な活動を通し、生活の自立に必要な基礎的な知識・技能を習得する。 自分自身の生活を振り返り、身近にある課題を見つけ、衣・食・住生活の自立を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体が騒がしい場合は静かになるまで待つ、個別に騒がしい場合は個別指導を行う等、落ち着いた雰囲気の説明ができるようにする。 習熟度に応じて、放課後等に補習を行うが、意欲のあるものにその意思を確認して手続きを行う。 発問を簡単な内容から難易度の高いものへと段階的に工夫する。
特別の教科道徳	<ul style="list-style-type: none"> 自己を見つめ、生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 「思いやり」の心の醸成を重視する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「よりよく生きる」をテーマに自らの生き方について見つめ直すことができる資料を広く収集し、編集していく。 担任による道徳授業と並行し、ローテーション授業を行うことで、全クラスで指導する形態を取り入れる。
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> 「職業調べや進路学習」などの体験活動を通して、生き方について考えさせ、自ら考え行動する力の育成を図る。 高齢者、ユニバーサルデザインに関する学習を通じて、差別や偏見をなくし、互いに認め合う心を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「プロから学ぶ」という職場の現場の声を聴く会を通して、職業についての理解を深めさせるとともに、自らの進路について考えさせる機会とする。 高齢者体験やユニバーサルデザインなどについて、実際の活動や現物を見て、実体験に基づく知識を身に付けさせる。
学級活動	<ul style="list-style-type: none"> 自主的、自律的な行動ができ、周りに任される生徒を育てる。 基本的な生活のルールやマナーを守る生徒を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間に対する意識を高くもたせチャイム着席を徹底し、ルールを守り、仲間を大切に育てる生徒の育成に努める。 意欲的に学習に取り組めるように授業規律を確立し、個々の生徒に応じた学習指導をすすめる。

令和2年度 教科等別授業改善推進プラン

武蔵村山市立第五中学校 第3学年

教科等	(1)生徒の実態から 特に育成したい能力や態度	(2)指導形態、指導過程及び指導方法等の工夫 ※学力向上の具体的な手だてを示す
国語	<ul style="list-style-type: none"> 語彙力を身に付け、漢字や語句を適切に使用できるようにする。 自分の考えを分かりやすくまとめ、表現する力を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを分かりやすく200字程度でまとめる練習を繰り返す。 スピーチや集団討論の機会を増やす。相互評価することによってレベルアップを図る。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項の学習を繰り返し、基礎的・基本的な知識を定着させ、理解力を深める。 ニュースや時事問題を教材として取り入れ現代社会の出来事に興味・関心をもって生活する態度を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとのワークシートを活用し、3分野が関連するテーマを取り上げ、基礎的・基本的な知識を振り返られるようにする。 新聞記事やテレビのニュースを話題にし、時事問題を活用しながら、実生活と結び付けて考えさせる。
数学	<ul style="list-style-type: none"> 数学に関わる用語を理解させ、基礎的な計算力、方程式や関数を応用する力、証明問題を筋道を立てて考える力を育成する。 学び合い活動を取り入れ、他者の意見を聞き、自分の考えを説明できる力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 導入の段階で、本時の目標を提示し、学習に取り組みせる。 計算プリントを利用した短時間の計算練習により基礎学力の向上を図る。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項の学習を振り返り、基礎的・基本的な知識を定着させる。 実験で得られた結果の処理方法をおさえることで、自然の事象をより科学的にとらえ、考察する能力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業のはじめに前回の確認問題を行ったり、小テストを行ったりして知識の定着を図る。 資料からのデータの読み取り、グラフの作成と読み取りなど、各課題に取り組みせながら、一連の技能を習得させ、そこからわかる事象について考える活動を行う。
英語	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや思いを簡単な英語で表現できる生徒を育成する。 基本単語と基本文を授業の中で継続的に指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> グループ学習や活動をできるだけ取り入れ、生徒の個別的、主体的活動を充実させる。 独自のワークシートを使用し、基礎・基本を反復して学習させ定着を図る。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 音楽への興味・関心を養い、味わう心情を育てる。 音楽の要素や構造を理解し、幅広く鑑賞する能力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の興味関心を高められる教材を使用し、鑑賞する曲のレパートリーを増やし、関連して学べるよう工夫する。 様々な楽曲に対する考えを、自分の言葉で表現し発表し、互いに協力して表現の工夫を考え実践する力を育てる。
美術	<ul style="list-style-type: none"> 知識や技能を生かして、創意工夫する技能、表現を深く追求する態度を育てる。 作品を鑑賞する際は、歴史的な背景などから、作者の意図を深く感じ取り、表現する能力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 制作時間を意識し、計画的に制作できる能力を育てるため、分かりやすい説明と多様な表現の見本を提示する。 見通しをもって制作を行わせ、意見交換を通して自他の作品のよさを知り、自分の考えを深め主体的で対話的な学びを促す。
保健体育	<p>【体育分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個々の技能向上を目指し目標を設定し、解決のためグループ学習の仕方を工夫する。 <p>【保健分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康な生活や病気予防に関する知識や理解を深め、自らの健康を適切に管理、改善していく資質や能力を身に付け実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> 種目ごとのルールや特性を理解させ、その特性に応じた学習活動や補助活動を取り入れ、学習カードの活用や、個人で習得してきた知識や技能を活かして、記録や技能の向上を目指した活動をする。 健康な生活と病気についての理解を深め、予防のための具体的な手だてを学び、日常生活で実践できるようにする。
技術家庭	<p>【技術分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業当初に、話を聞く態度を整えさせ、授業内容を把握させる。 <p>【家庭分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分と家族や家庭生活との関わりを考え、よりよい家庭生活を目指す態度を養う。 身近にある課題を見付け、家庭の中での役割をふまえ、衣・食・住生活の自立を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 副教材として、レポートを作成し、前回までの進捗状況の把握、課題の確認をできるようにする。 生活の中で興味・関心をもち活用できる教材の工夫・開発に取り組む。 自らの生活経験に基づいてお互いに教え合う、学び合いの機会を増やす工夫をする。 授業内容を振り返り、実生活に結び付け、自分のできることを確認し、実行できるようにしていく。
特別の 教科 道徳	<ul style="list-style-type: none"> より良い生き方を模索するため、題材について自分事として考え、他の意見を聞き、自分に生かしていこうとする態度を養う。 社会人として道徳的な考え方や行動を実践する態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 担任による道徳授業と学年の教員によるローテーション授業とを織り交ぜながら、題材を自分のこととして考え、議論するような指導を行う。 生徒が自己の生き方についての考えを深めることができる身近な読み物資料を、幅広く収集し、活用していく。
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> 自己の進路に対して真剣に考える態度・実践力を育成する。 障がい者についての理解を深め、共に生きる社会を築いていく資質や態度を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路学習を通じて、自分自身を見つめ直させ、自己の課題に対して意欲的に取り組ませる。 様々な情報や資料を的確に取捨選択し、活用する能力を身に付けさせ、社会について関心をもたせ、自己の生き方を考えさせる。
学級活動	<ul style="list-style-type: none"> 自主的・自律的な態度を確立し、望ましい人間関係を育成する。 行事や係・委員会等を通し、責任感と遂行力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 係活動や班活動などを行う中でそれぞれの活動に責任をもたせ、生徒の自主的、自律的な活動を活発にする。 リーダーを中心として学校行事や学年の取組に向けて生徒が自主的、自律的に企画、運営し、生徒自身で創りあげられるよう指導、助言する。